

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成24年2月号

編 集

発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3

社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00

(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発 行 日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(送料共)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

社団法人 日本病院会 通信教育部

診療情報管理士を目指す皆様へ

野原 当

医療法人社団吉徳会 あさぎり病院 院長
大阪会場 基礎課程(臨床医学各論Ⅶ) 講師

私が勤務する病院の診療情報管理士に、仕事をする上で一番苦勞することは何?と尋ねたら開口一番に「先生方にサマリーを書いていただくのが大変です」との返事が返ってきました。その時に診療情報管理士の勉強中のスクーリングでの講義のことを思い出しました。

私は診療情報管理について知る必要を感じて日本病院会の診療情報管理士養成講座を受講しました。ICD-10 コードの付け方を学び、診療録の価値を学び、診療録管理の方法を学び・・・若い頃に働いていた公立病院の病歴室に居た方々はこういうお仕事をしていたのか、と感じ入ったものです。その後スクーリングが始まり、講師の先生方が「医者は診療録の大切さが分かっていない」「医者にカルテをきちんと書いてもらうのが大変」とおっしゃるので、医師の私は大いに反省しては小さくなっていました。

医師の仕事で一番大事なのは患者さんの治療ですから、最もエネルギーを使うのは診療行為そのものです。その診療の後に診療内容を記録するのはとても辛く感じます。当院では電子カルテシステムを採用し、個々の医師が自分専用の文章のひな型を作ることができますし、退院サマリーは、テンプレートの項目を選べば完成できるような仕組みを作っています。それに最近はドクターズクラークの方が記録の代行や退院サマリーの下書きもしてくれます。それでもやっぱり診療情報管理士さんは医師にサマリー記載してもらうのが大変なようですが・・・。

これから診療情報管理士の仕事を始める皆さん。紙カルテであっても電子カルテであっても、医師が診療録に記載しやすい仕組みと一緒に考えてあげてください。よい診療をして、その証拠としてきちんとした記録を残すことは医師も診療情報管理士も共通の目的のはずですから。